

明けて

おめでとつげいます

井原地区社会福祉協議会

会長 沼崎 洋三



荒谷山を望む

元気でいこう「人生100年時代」へ

令和も3と記す年となりました。足早に駆け抜けたような気が致しますが、いかがでしょうか。触れたくなくても出てくる一言が「コロナ」。今もなお収束しない新型コロナウイルスで暮らしてしまった令和2年。共に祝する「敬老の日」の集いをはじめ、子供達と共に歌い、肩たたきのひとときを過ぎ「ひとり暮らし高齢者の集い」など、感染リスクありとして「集いの場」を中止・縮小したこの1年でした。

「存知のように、いま、長寿命化が進み「人生100年時代」が身近になってきたといわれています。加えて「2040問題」。日本社会が直面する課題として、高齢化のピークが予測され、医療や介護などの社会保障制度を支える現役世代が激減する年が2040年と言われています。私たちに望まれることは、如何にして健康を維持するかにあります。

「健康寿命」。存知でしょう。すなわち「健康上の理由によって、日常生活が制限されることなく維持できる年齢」のことです。よく知られている疾患に、癌・心疾患及び脳血管疾患があります。私達にとつて勝ち目のないと言われてきたこの病も含め、食生活の向上と共に医学の進歩が健康寿命の延長に大きく寄与してきました。

今ひとつ健康寿命を延ばすことが出来るのが、人と人の「絆」・「きずな」だといわれています。すなわち、となり近所は勿論のこと、趣味やサロン等を通して仲間と集い、互いに「かわり合い」を持ち合うことです。最近、「日頃のちよつとした手助けで、頼りにする人がいない」と答えた65歳以上の方が、「こ

5年間約1.5倍増えているとのことですが。

今一度、東日本大震災を振り返ってみましょう。この大震災復興をきっかけに、「絆」の大切さが見直されました。安心して暮らせる・支え合うまちづくりには、人と人をつなぐこの「絆」なくしてはあり得ないとされました。そして多くの支援が生まれました。

「すべての人に居場所や役割があり、地域で安心して暮らせる、支え合いのあるまちをつくらう。」

これは、安佐北区社協の3カ年計画の理念でもあります。このことは、前述した、健康寿命を延ばすことでもあります。もつと大きく考えれば、現役世代への負担軽減にもつながってきます。

それにしても、新型コロナウイルスの感染は、一日も早く収束してほしい。地域での様々な活動や行事が縮小あるいは中止。その上に自粛生活が強いられる状況が続くと、精神的にも身体的にも良い影響はありません。

最後に、スクールカウンセラーでもあり臨床心理士の武田正文氏の言葉で締めくくらせていただきます。

『今、世の中は不安定、不確実性等々の時代。だけれど私たちの住んでいるこの地は大丈夫。「眠れていますか」「食事はとっていますか」など、素直に「共感できるつきあいが残っている。となり近所は互いに信頼感ある私たち。地域みんなを支えあう、心にとどく言葉かけが、必ずや今の時期を乗り越えることが出来る。』

今年も、共に、明るく前向きに進みましょう。



《トピックス》

「井原地区の生活課題に関して」

見出しの件については、安佐北区社会福祉協議会の白木地区における交通課題（移動手段）のアンケートが、発端です。その結果、井原地区は、買い物に不便だという意見が、少なからずあり、交通手段を求める声にに応じて、乗り合いバス等の導入の検討を重ねてきましたが、広島市より当地区は、交通空白地帯に当たらないとして、計画は頓挫してしまいました。

その為、アンケート結果の困りごととして、挙げられていた買い物について、少しでも解消になればということ、作成され各自治会等に配付されたものが、「井原地区買い物に関する、社会資源リスト」です。（2019年3月）

あれから、1年9ヶ月経過しておりますが、まだ、皆様に周知仕切れてないと感じ、ここで、再度ご利用しやすい項目とお店を抜粋してお届けし、現在、ご不便を感じている方へ、すこしでも、お役に立てればとおもいます。

なお、資料は、2019年3月現在であり、利用しようと思う場合、変更されている事項もありますので、まずは各お店に直接確認してください。

弁当を(配食)配達してくれる店

・(株) ヨシケイ

月曜～金曜 9:00～18:00
電話0120-188-973

・ワタミの宅食

月曜～土曜 9:00～19:00
日曜 9:00～17:00
電話0120-321-510

・タイヘイ

月曜～金曜 9:00～17:00
電話0120-996-181

食料品や日用品配達をしてくれる店

・セブンイレブン白木町井原店

セブンミール会員登録が必要で、カタログにある商品だけが配達できる。

電話828-2825

・佐々木商店 (市川)

月曜～土曜 10:00～20:00
電話828-1002

2人以上の買い物では、家まで迎えに行き、買い物後送るとのこと。刺身など店で見してほしい。常連客は配達可能(2000円以上)。

・フードショップただだ(向原町坂)

月曜～土曜 9:00～19:00
電話0826-46-2614

5000円以上の買い物で配達可能
肉がメイン、魚は予約制、野菜・果物等あり。

・生協ひろしま

月曜～金曜 8:30～21:00
電話0120-500-935

配達は、1週間に1回。注文書で翌週の注文。最初、出資金1000円必要だが、解約時返金あり。配達料あるも、高齢者、障害者半額。

・ヨシケイ広島(緑井)

月曜～金曜 9:00～18:00
電話0120-188-971

注文書もしくは電話で注文。1週前の水曜締切で翌週より利用可能。送料無料。

・健康宅配ネット(三入)

月曜～土曜 9:00～17:00
電話0120-818-086

通常、週1回の配達。自社商品と可部ノムラストアーの商品を配達。配達料ノムラストアーの商品は発生。

生協ひろしまの移動販売車

生協ひろしまの移動販売車が、毎週木曜日に来ています。販売場所と時間が決まっています。

場所と時間

・井原下市(高橋守様空き地)
13:00

・井原老人集会所前(中村様駐車場)
13:30

・市川順教寺前
16:15

*注意事項

・電話番号は、くれぐれもお間違いないようお願いいたします。

・配達サービス等の利用につきましては、内容をご確認のうえ、ご自身の選択と責任において行っていただきますようお願いいたします。

・配達サービス等の利用により生じたトラブルにつきましては、責任を負いかねますのでご了承下さい。

今回、井原地区生活課題会議・安佐北区社会福祉協議会より、「井原地区買い物に関する社会資源リスト」やそれに関するアンケート調査がきております。御協力いただき各自治会の福祉委員に提出いただきますようお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症防止対策

昨年は、新型コロナウイルスの拡大に振り回された1年でした。特に、年末になるに従い、広島県内でも感染が、スピードを上げて拡大しています。そこで、ここでは広島県より、県民に対する要請を記載しましたので、お互いに注意して、感染防止していきましょう。

【基本的な感染防止の徹底】

- ① よく食べ・よく眠り・よく運動など、健康を維持すること。また、インフルエンザワクチンなどの予防接種や各種健診、その他、必要な通院は躊躇しないこと。
- ② 「3つの密」の徹底的回避、体調管理、マスク着用、手洗い、咳エチケット、人と人との距離確保等を徹底し、十分な換気や適度な保湿を行うこと。
- ③ 在宅勤務、時差出勤、自転車・徒歩通勤などにより、通勤時の人と人の接触を減らすこと。
- ④ 発熱等の症状がある場合は、外出を控え、かかりつけ医や積極ガードダイヤル（受診・相談センター）に連絡し、身近な診療所などを受診すること。また、イベントへの参加や他の都道府県への移動を行わないこと。

【積極ガードによる感染防止】

- ⑤ 会食などで飲食店などを利用する場合は、「広島積極ガード店」、「新型コロナウイルス感染症防止対策取組宣言店」などの店舗を利用すること。
- ⑥ 「広島コロナQR」の積極的な利用や接触アプリのインストールなど、デジタル技術を積極的に活用すること。
- ⑦ 飲食店などにおいて大声で話したり、カラオケ、イベント、スポーツ観戦などで大声を出したりすることは控えること。
- ⑧ 参加者及びその連絡先が把握できない状態での大人数での会食や飲み会は避け、飲酒を伴う会食は「少人数・短時間で」、「なるべく普段一緒にいる人と」、「深酒・はしご酒などは控え、適度な酒量で」行うこと。
- ⑨ 感染リスクが高まる「5つの場面」が具体的にどこにあるのかについて考え、注意力の低下や気の緩みなどによる感染リスクに注意すること。
*5つの場面
・ 飲酒を伴う懇親会等
・ 大人数や長時間に及ぶ飲食
・ マスクなしでの会話
・ 狭い空間での共同生活

・ 居場所の切り替わり
(休憩室・喫煙所・更衣室等での環境変化により、気の緩み)

【他地域への移動、イベント等に係る感染防止】

- ⑩ 移動先の感染状況や都道府県が出す情報などを確認して、当該都道府県内のリスクが高い地域への移動や施設の利用はひかえること。とりわけ、当該都道府県が使用を制限している施設の利用は慎むこと。
- ⑪ また、都道府県が住民が対して、不要不急の外出自粛を要請している地域及び直近7日間の十万人当たり新規陽性者数が十五人以上となっている地域への往来については、改めてその必要性を十分に検討し、慎重に判断すること。
- ⑫ 屋内外を問わず、密集状態等が発生する恐れのあるイベント等に参加しないこと。

【積極的疫学調査への協力】

* 感染例が発生した場合には、まん延を防止する観点から、保健所が実施する積極的疫学調査に協力すること。

【誹謗中傷・差別の禁止】

* 感染者・医療福祉関係者やその家族などを、絶対に誹謗・中傷・差別しないこと。

無症状者が、検査で感染確認されたとか、感染力の強い新型が流行しているとも発表されています。何かの折には、是非このページを見ていただき、日頃の行動基準としてください。

妖怪

アマビエ

疫病退散



お知らせ

・ 例年、1月に予定していました福祉研修会は、新型コロナウイルス感染症防止の観点から休止にさせていただきます。
・ また、今後の社協事業もコロナウイルスの感染状況に左右され、予定が立たないのが現状です。御理解のほど、お願いいたします。
・ 「えがお便」は、3月より、活動します。引き続きよろしく願います。

【ボランティアバンク登録者の更新と新規募集について】

今般、10年以上前に作成し、その後更新していなかったボランティアバンク登録者の見直しを進めています。作成時より、地域の状況は、自然災害の発生等がある一方、過疎化・高齢化が進み、また、登録者本人様の状況も変わってきていらっしゃることより、見直し手続きすることとなりました。十二月より、往復ハガキにて、登録者の方に再度の登録意思確認をお願いしておりますが、予想以上に年令的・体力的理由による辞退者が多く、今後、ボランティア活動を依頼させていただくときに、懸念があります。

そこで、新たに、ボランティア活動に関心ある方に登録をしていただきたいと思えます。正式には、社協役員・福祉委員等を通して回覧させていただきますので、ぜひ、登録にご協力をお願い申し上げます。

ボランティア活動例

- ・ 清掃や片付け（家事援助）
- ・ 高齢者への見守り、話し相手
- ・ 災害時の後片付け
- ・ 児童等子供への見守り



《各募集のお知らせ》

井原地区社協は、ふれあいの場作りとして、該当団体の支援活動しておりますが、近年、やはり、高齢化や環境の変化により、会員数が減少しています。この紙面にて募集したいとおもいますので、ご連絡下さい。

1. つくしの会

（一人暮らしの高齢者の会）

連絡先 山根 義則

828-00261

2. えくぼの会

（障害をもっている方の会）

障害手帳保持必須条件

連絡先 飯田 実

828-2473

どちらも、茶話会・レクレーション等の活動を年数回行っていらしゃいます。

《井原地区社協役員募集》

当社協の地域福祉推進委員は、現在、事務局長が、兼務しておりますが、実際は人手不足の為であり、機能してないのが、現状です。福祉面に興味ある方は、是非、手を上げて下さい。

地域福祉推進委員の役割

- ・ 社協の福祉事業の提案
- ・ 社協の福祉事業の調整
- ・ 社協の福祉事業の広報

連絡先 828-2473 飯田まで



井原地区社会福祉協議会に対し、左記の皆様から、多額のご寄付をいただきました。

皆様の地域福祉に対するご理解とご協力に厚くお礼を申し上げ、ここに報告いたします。

（令和2年8月～12月）

9月 中東 山縣 芳彦様

（故）山縣 トシエ様

11月 新宮 栗林 哲子様

（故）栗林 勝利様



長年、地域福祉活動に貢献された方が表彰されました。おめでとうございませう。今後ともよろしくお願い申し上げます。

地域福祉功労者 表彰（敬称略）

◎安佐北区社会福祉協議会会長表彰

- ・ 池岡 正康（理事・評議委員）
- ・ 谷川 温子（評議委員）



編集後記

ちようど、1年前に、コロナウィルスの名前を聞いて以来、その後、現在まで、様々な活動に制約を受け、息苦しい生活が続いています。ワクチンが実用化といっても、従前の生活形態にもどるのは、難しいと誰もが思っているのではないのでしょうか。つながりにくくても、やはり、「わ」は絶対必要ですね。